私たちは柏崎の「ハッピー・パートナー企業」です

新潟県では、男女が共に働きやすく、仕事と家庭等の両立、女性従業員の育成や登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として支援しています。

柏崎市ホームページ
ハッピー・パートナー
企業募集

「働きがいのある職場を目指して」

新潟スーパー産業株式会社 茨目 1880-1

代表取締役社長
川俣　多希子さん

新潟スーパー産業株式会社は、1962年の創業以来60年、“環境の保全と地域に住む人たちの生活の向上を実現します”を経営理念として、浄化槽関連事業を展開し、地域の水環境を守ることを使命として業務を行ってきました。また、廃棄物収集運搬業の許可をいただき、地域の皆様の快適な生活に繋がるよう、日々の業務に取り組んでいます。

弊社では、健康促進として、健康診断にて再検査があった場合のフォローを行い、自身の健康状態の把握と改善に努めています。

また、年次有給休暇の積極取得を推進し、取得率100%、年次有給休暇平均取得日数は13日（2021年度実績）となっております。

2020年には、「ハッピー・パートナー企業」として新潟県からの認定を受け、男女共に家庭生活を大事にしながら働きやすい職場環境の実現を目指しております。

男性社員1名による、2020年5月から6月にかけての育児休業取得や、女性管理職の登用・技術資格取得を推進するなどして、男女共に働きがいのある職場を目指しております。

「さらに女性が活躍し、男女ともに成長できる職場へ」

シモダ産業株式会社　松波2-6-43

代表取締役社長
霜田　彰さん

鋳材事業、環境事業、バナナ事業の3つの事業を展開する当社は、会社の草創期より「循環」をキーワードとして成長してきました。業界でいち早く鋳物砂の再生技術を確立したほか、近年は産業廃棄物焼却施設におけるサーマルリサイクルの取り組みとして、「越後バナーナ」の栽培を行っています。

総勢約200名がそれぞれのセクションで能力を発揮していますが、女性は約70名で、子育て世代の女性も製造現場で多数活躍しています。これまで、結婚・出産による離職者はなく、育児休業からの復帰率は100%です。女性取締役が2名という点も、女性の定着に影響を与えているものと思います。

社内には有給休暇を取得しやすい雰囲気があり、お子さんを持つ社員にとっての働きやすさにつながっています。女性の場合、「まずはパートから」という方が一定数いらっしゃいますが、当社は年1回定期の正社員登用により、平成30年以来32名を登用しました。また、意欲のある人材には、男女や雇用形態を問わず資格取得を支援し、活躍の場を広げています。福利厚生では、人間ドック補助が好評です。

培われてきた社風を今後も大切にし、新たな試みを交えながら、よりよい働く環境づくりに努めてまいります。

柏崎の女性史

女性の守り神　淡島さん

柏崎で安産の神というと上輪の胞姫さんが有名ですが、同じく安産の神として信仰されたものに緑町の淡島神社があります。略縁起には、「婦女の願を満たしめ、裁縫技芸の能達、夫婦妹背の縁結び、殊に子宝を授け、安胎平産をも守らせ給ふ」とあり、多くの女性たちが参詣に訪れました。

古い記録では、江戸時代の終わりに女性たちが度々参詣する様子が「柏崎日記」に描かれています。関甲子次郎『越後の婦人』（明治35（1902）年）にも、「腰から下もの神さんなりとて毎月三日の昼夜、女人群を成して参詣す」とあります。こうした賑わいは昭和50（1975）年頃まで続き、大祭日には山門に店が出て、「淡島通り」と呼ばれた中浜からの道は砂埃がたつほどだったといいます。

かつて社殿には、よだれかけや産着、人形、乳型を据え付けた奉納額など子どもの健やかな成長を願うもの、下駄や靴下、下着など病気平癒を願うもの、着物の裁縫作品を据え付けた奉納額（技芸上達を願うもの）などが奉納されていました。変わったところでは、女の命ともいわれた黒髪や髪飾りの奉納額、夫婦で誓いを交わした請願文の奉納額などもありました。薄暗い社殿に黒髪や人形が所狭しと納められ、なんとも言えない独特の雰囲気が漂っていました。

淡島神社社殿　平成18（2006）年撮影

現在では淡島神社の名前を知る人は少なくなりましたが、奉納物は女性たちの生きた証、祈りの姿を伝えてくれます。

（協力／早川 美奈子さん）

市からの情報

知っていますか？ LGBTのこと

最近よく聞かれるようになったLGBTとは、次の言葉の頭文字を取って組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）の総称のひとつです。

- L=レズビアン 同性を好きになる女性
- G=ゲイ 同性を好きになる男性
- B=バイセクシャル 同性も異性も好きになる人
- T=トランスジェンダー こころと体の性が一致しない人等

性的少数者には、LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・分からない人など、様々な人がいます。

生まれた時の性別と自分で認識している性別が一致せず、社会生活を送ることに大きな苦痛や困難を感じている人もいます。日本では、10人に1人がLGBTに該当する人といわれています（(株)LGBT総合研究所2019年調査）。自分の周りに「いない」のではなく「気付いていない」のです。一人ひとりの顔や性格が違うように、性のあり方は多様です。どのような場合でも個人を尊重することを大切にしたいですね。

あとがき

今年の女と男フェスティバル（新潟県女性財団主催、県の男女共同参画行事）の基調講演は「アナウンサーパパが伝える、ワークライフバランスと女性活躍」と題して、フリーアナウンサーの笠井信輔さんでした。笠井さんはチラシの写真より若く素敵で、話は抜群に面白い。人気のほどがうかがえるものでした。生活を明かしながら家族との関係、仕事との向き合い方、ご自身のがん体験も交えて、いかに男女共同参画のほうに社会を変えていくか実践を話されました。笠井さんのパートナーもだだものではないと感じました。次回はぜひご一緒に。刺激、受けました。

（押見 操子）

こちらからご覧いただけます

― 柏崎市ホームページ ―

市民会議会員募集

あいむ柏崎バックナンバー

あいむ柏崎 第7号　令和4(2022)年10月5日発行

発行：かしわざき男女共同参画推進市民会議　事務局：柏崎市総合企画部 人権啓発・男女共同参画室
〒945-8511　柏崎市日石町2番1号　☎ 0257-20-7605　FAX 0257-22-5904　E-mail：danjo@city.kashiwazaki.lg.jp　印刷：株式会社小田